

令和2年1月31日

石巻市議会議長 木村 忠良 殿

石巻市議会
無党派 木村 忠良

調査報告書

調査した概要は次のとおりであります。

記

- 1 調査者氏名 木村 忠良
- 2 調査期間 令和2年1月21日から
令和2年1月23日まで 3日間
- 3 調査地
及び調査内容 (1) 愛知県豊田市
・ものづくり創造拠点SENTAN（センタン）について

(2) 岐阜県岐阜市
・岐阜市健康ステーション事業について

4 目 的

(1) 愛知県豊田市

・ものづくり創造拠点 SENTAN（センタン）について

豊田市は、愛知県のほぼ中央に位置し、愛知県全体の17.8%を占める広大な面積を持つ、全国有数の製造品出荷額を誇る「クルマのまち」として知られ、世界をリードするものづくり中枢都市である。

「ものづくり創造拠点 SENTAN」では、「とよたイノベーションセンター」「豊田市ものづくり産業振興課」「豊田市ものづくりサポートセンター」の3つの支援機関が集約され、ものづくり企業・団体の「新たな事業展開」「イノベーション創出」「ものづくり人材育成」を総合的に支援する新たな拠点となっている。

人工知能やIoTなどの技術革新や エネルギー転換などの新たな事業の展開のための施設となっていることから、本市としても次世代の技術へのイノベーション創出はもとより、子どもものづくり学習支援などの人材育成やアイデアの掘り起しなど、創業を含め、市内企業の育成が今後必要となることから、今後の本市事業推進の参考とする。

(2) 岐阜県岐阜市

・岐阜市健康ステーション事業について

岐阜市は、市民誰もが心も体も健康で幸せになれるまちを目指しており、暮らしているだけで誰もが健康になれるよう「まちづくり」と「健康づくり」の取組を一体となって進める「スマートウェルネスぎふ」に取り組んでいる。

健康ステーションは、「スマートウェルネスぎふ」を推進していくための施設で、健康チェックや健康関連情報の発信など、健康づくりのための様々なサービスが用意されており、長良川健康ステーションと柳ヶ瀬健康ステーションの2カ所で運営を行っている。

健康チェック、ウォーキング・ジョギング・ランニング、エクササイズ、リフレッシュ、交流サロン・健康情報コーナー、健康相談・講座など、健康のためのさまざまな利用を想定したステーションとなっており、平日は午前7時30分から開館しているなど、通勤・通学前のジョギングの利用も推進するなど、健康増進に取り組んでいる。

本市としても、みんなで生き生き健康プランを策定し、石巻健康センター あいプラザ・石巻を指定管理して運営しているが街中に一カ所しかないため、より利便性の向上や健康長寿のため、岐阜市の取組を学び、今後の本市事業推進の参考とする。

5 調査概要

(1) 愛知県豊田市

・ものづくり創造拠点 SENTAN（センタン）について

豊田市は愛知県のほぼ中央に位置し、人口約42万6千人の年であり全国有数の「クルマのまち」で知られている。又、世界をリードするものづくりの都市でもある。

市税は市の歳入のうち5割～7割を占めていたが、平成20年のリーマンショックや震災による影響で21年度から25年度まで市の税収全体で約30%、法人市民税の約90%が減収した。その後回復傾向にあるものの自動車産業の停滞等により産業構造等の変化に対応する力が課題となっていた。このようなことから、豊田市名誉市民 豊田英二様のご遺族による寄付金をかつようしてものづくり企業の持続的発展を目的に、豊田市ものづくり産業振興プラン2017-2020「ものづくりミライに挑戦する産業創造都市」を目指し「ものづくり創造拠点SENTAN」が開設された。

SENTAN[センタン]には「ものづくり」に必要な要素として、

1. 閃鍛=閃きを鍛える[発想]
2. 千鍛=千の訓練で鍛えれば事は全うできる[根気]
3. 先端=先を行くもの

以上、3つの意味が込められており、それらに基づいて

- ① イノベーションセンター
- ② 豊田市ものづくり産業振興課
- ③ 豊田市ものづくりサポートセンター

の3者が連携して総合的に支援する拠点となっている。

成果

- ・登録団体 39団体（407人）
- ・年10件以上の新製品開発へ向けた取り組みを支援
- ・年200人近いものづくり人材の育成

今後の見通し

- ・SENTANでの新事業展開パッケージ支援の確立
- ・SENTANエコシステムの構築

(2) 岐阜県岐阜市

・岐阜市健康ステーション事業について

岐阜市は、織田信長公ゆかりの金華山、岐阜城を有する岐阜県の中核市である。また、最近では、大河ドラマ「麒麟がくる」にあわせ、光秀公が仕えた斎藤道三公・織田信長公が息づくまちとしても情報発信を行っている。

岐阜市では、少子高齢化・人口減少が急速に進む中、高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現するためにも「健幸＝健康で幸せ（身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること）」づくりを目指すという「健幸長寿社会を創造するスマートウェルネスシティ総合特区」として平成24年3月に認定され、計画に基づき健康づくりの拠点として「健康ステーション」を2カ所設置した。

そのうち「長良川防災・健康ステーション」については、約2370万円で建設され、運営委託費として約2500万円として運営を行っている。館内はシャワー以外全て無料となっており、朝7時30分から開所しているなど、通勤通学前の利用も想定した施設となっている。

施設は、健康づくりの「きっかけ」を提供することを目的としており、健康講話や健康フェスタの開催を行っている。

今後の見通し

- ・歩くまちづくりとしてクアオルト健康ウォーキングの導入

ドイツのクアオルト（＝健康保養地）で行われている「心身の健康づくり」のためのウォーキング

- ・健康寿命の延伸と共に自然、歴史文化資産、温泉を組み合わせた新たな体験型観光の推進

6 所 感

(1) 愛知県豊田市

・ものづくり創造拠点 SENTAN（センタン）について

異業種交流や出会いの機会を提供する交流施設にはミーティングスペースがあり、技術・経営を相談できる個室スペース、加工ができるものづくりスペースなど、アイデアをすぐに形にできたり、開放特許による新製品開発やベンチャーと技術力の組み合わせなど、さまざまなマッチングが行える施設となっていた。

また、産業支援として、新事業の創出や企業への依頼試験の費用を助成する補助金も用意され、官民一体となった支援体制であると感じた。

さらには、小学校の授業での「ものづくり教育プログラム」の実施や、中高生を対象とした科学・ものづくり講座の実施など、子どもたちのものづくり学習も支援するなど、将来に向けての教育にも力をいれており、市を上げて「ものづくりのまち」を支援していると感じた。

(2) 岐阜県岐阜市

・岐阜市健康ステーション事業について

岐阜市の健康施策については、市主導の特区計画や、クアオルト施策の立案、実施と民間が協働して実施するヘルスツーリズムとの連携など、単に健康にとどまらず昨今の健康ブームに観光を融合した面白い取り組みであると感じた。

7 調査による石巻市への政策提言等

(1) 愛知県豊田市

・ものづくり創造拠点 SENTAN（センタン）について

本市での「ものづくり」を考えると、石巻専修大を拠点として石巻地域産学官があり地域産業の創出、地域の活性化まちの発展等を目指して、環境部会やマリフード部会が設置されて自動車関連や環境・水産等について研究、開発等の事業展開をしていると認識しておりますが、いまいち石巻のものづくりの拠点になっているという思いに至っていないのが実情であります。このことから、豊田市の「ものづくり創造拠点SENTAN」のような施設でなくとも、例えば現在廃校になった旧大須小中学校を水産資源の研究センターやものづくりセンターなどの施設に一部をリニューアルして誰もがそこへ行けば市民や企業が試験的なものづくりができるように、また、新製品の開発や販路開拓支援室や子どもものづくり学習支援が連携して支援できるような施設にすべきである。

(2) 岐阜県岐阜市

・岐阜市健康ステーション事業について

本市においては、震災後の心身の健康状態においては、メタボ率全国ワーストクラスといった状況であり、メンタルヘルスケアが喫緊の課題であるものの、体の健康についても今後施策的に展開していく必要があるものと感じている。

健康やスポーツのイベントとしてツール・ド・東北といった自転車イベントなどがあるものの、あくまで東日本大震災の復興支援および震災の記憶を未来に残していくことを目的としたイベントであり、本市においての健康の視点は無く、そういった取り組みを健康とつなげていくような官民の取り組みが必要と考える。

健康づくりを単なるひとつの事業ではなく、市全体の施策としてとらえ、健康寿命を延ばしながら、持続可能な石巻の発展のためのまちづくりとして考えるなど、新たな視点を持つべきと提言する。

8 調査経費 64,990円

9 添付書類 別添資料のとおり